

人との繋がりが

環境にやさしい農業の発展に



— 環境保全型農業部門 —

京都府農業協同組合中央会長賞

か

わ

せ

み

南丹市



農業技術の勉強会をきっかけに環境問題への対策として「自分たちにできることをはじめよう」との思いから本団体を結成しました。堆肥や発酵肥料の正しい使用法を学び、化学肥料・化学合成農薬の使用量を慣行レベルから5割以上の低減を実現しています。

生産技術の講習会での農業者との情報交換や子ども達へのお米づくりの指導に取り組み、子どもや周辺地域の多様な人々との輪をひろげながら、環境にやさしい農業の理解醸成に努めています。

秋耕の拡大

秋に水田を耕し、メタンガス排出量削減に取り組んでいます。



ビオトープで環境学習

子供たちとの農業体験学習、ビオトープや里山での生き物調査に積極的に参画し、環境保全への関心を高める活動をしています。



生産技術等の講習会への参加

生産技術向上のため継続して講習会に参加し、品質や収量だけでなく、化学肥料に頼らない環境にやさしい農業の実現に日夜努めています。

